

繊細な歯周外科手術のためのストレスフリーな操作性 KAI エステティックナイフ

歯周病治療専門クリニックSPIDO
(大阪府大阪市)
院長 **辻 翔太**



マイクロナイフKAIエステティックナイフは、歯周外科用のマイクロメス刃です。ハンドル一体型で、最大の特徴は刃先を自在に曲げることができる点です。マイクロメスは、刃先を曲げない状態で用いると、歯間部や歯肉溝切開時の操作性に難があります。(画像1)しかし、このメスは刃先の角度を変えることで、狭い部位でもハンドルが対合歯に干渉することなく、スムーズな切開を行うことができます。(画像2)



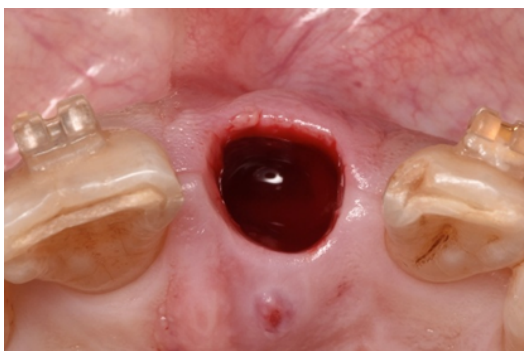
画像1
ブレードがまっすぐな状態では、矯正装置や補綴物、対合歯により適切なアクセスができない



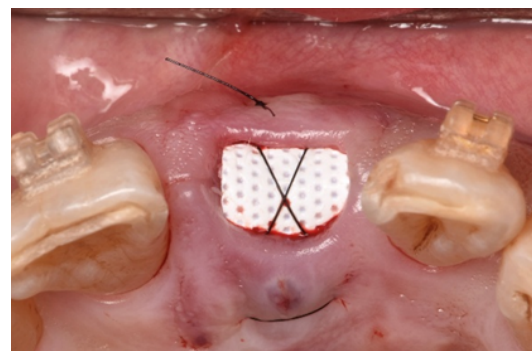
画像2
KAI エステティックナイフは、症例に応じて自由自在に角度を変えることができる

特に拡大鏡や顕微鏡下で行う、繊細な歯周外科手術を行う際には、正確かつ繊細な操作が求められるため、非常に有用です。(画像3,4)私自身も、このナイフを使用するまで、無理やり曲げて、折ってしまったことが何度もありました。

このナイフによって、特に審美領域の繊細な歯周外科治療時に、ストレスフリーで治療を行うことができる上、歯周病治療の新たなスタンダードとなることが期待されます。



画像3
KAI エステティックナイフを用いて歯肉溝切開を適切に行うことで、低侵襲な抜歯が可能である



画像4
抜歯による周囲組織の損傷を最小限にすることで、適切な歯槽堤温存術を行うことができた